

年間研修計画の工夫

小学校

全教職員の専門性の向上を目指した 校内研修の充実を図る取組

活用した資料

校内研修プログラム活用事例集
P 30～33
一年間を通した計画的な活用一

○ 実践の概要

本校では、全ての教育活動において、特別支援教育の視点を生かした指導や支援を行うことができるよう、校内研修プログラム活用事例集の「年間を通した計画的な活用」を参考に、学校の課題を踏まえた研修計画を作成し、校内研修を推進しています。

月	内容
4月	・年間研修計画の確認 ・支援体制の確認、チェック表の確認・検討、ユニバーサルデザインによる授業改善の視点の確認
5月	・児童の実態把握や発達障がいの特徴の理解 ・単元テスト等における合理的配慮の検討 ・運動会における支援（特徴の理解、言葉かけ）
7月	・北海道立特別支援教育センターから講師を迎えての研修の実施（通常の学級に在籍する児童への支援について）
8月	・北海道立特別支援教育センターの研修講座の研修成果の還元（教材・教具の活用など）
12月	・学習障がい（LD）への具体的な支援方法や学校外との連携
1月	・事例研修会

年度当初には、学級開きにすぐ活用できる内容を位置付けました。



【外部講師を招聘した研修会の様子】



【研修内容を生かした支援の様子】

学級担任が目指す学習支援や効果的な引継ぎについての事例研修会を実施しました。

校内研修に加えて、TT担当教員や教務主任、特別支援教育支援員などが定期的集まり、特別な教育的支援を必要とする児童についての実態把握を行い、その後、情報交流や具体的な支援方法について話し合っています。話し合った内容について学校全体で情報共有することにより、日常の教育活動についても特別支援教育の視点で改善を図ることができるようにしています。

○ 実践の成果

校内研修プログラムを活用し、特別支援教育に関わる校内研修の年間計画を作成することにより、効果的・効率的な校内研修を実施できるようになりました。

校内研修の成果として、特別支援教育の視点を通常の学級での学級づくりや授業づくりに生かすことや、個に応じた適切な支援を組織的に行うことなどについて、全教職員の理解を深めることができました。